



さどわら便り



QRコード
バックナンバー
がご覧にな
れます。

◆ 第3回 地域協議会が開催されました

第3回佐土原地域自治区地域協議会が、10月6日(金)に開催されました。今回は、「宮崎市地域まちづくりのあり方検討会」が8月に出した報告書に対する地域協議会委員の意見を取りまとめることが中心でした。また、佐土原地域自治区からの提言については、これまでの提言を引き続き継続することが確認されました。

【提言内容】

- (1)「地域まちづくり推進委員会の地域コミュニティ活動交付金配分額の見直し」について
 - (2)「佐土原総合支所の各課体制」について
 - (3)「根井三郎に関する資料等の常設展示館」の設置について
 - (4)「宮崎市佐土原歴史資料館(通称 鶴松館)」の開館日と「宮崎市城の駅 佐土原いろは館」の案内板標示について
- 【お問合せ】佐土原総合支所地域市民福祉課 電話 73-1111

◆ 佐土原保健センターのお知らせ

特定健診・各がん検診のご案内

～特定健診・各がん検診はお済みですか？～

■実施期間：令和6年3月31日まで

※特定健診は令和6年2月29日まで

■受診方法：指定個別医療機関

(集団健診は締め切りました。)

※内容・申込方法・自己負担金等については、令和5年5月末に届いた封筒(みず色)「令和5年度宮崎市健康診査受診券」をご確認ください。



健康相談のご案内

■日程

期 日	申込締切日	時 間
令和6年 1月16日(火)	1月12日(金)	9時30分 ～12時00分
令和6年 1月30日(火)	1月26日(金)	13時30分 ～16時00分

■会 場：佐土原保健センター(佐土原総合支所内)

■実施内容：1、健診結果に関する相談
2、栄養相談

■申込方法：要予約 ※1人あたり60分程度です。

■その他

* 健診結果・お薬手帳のご持参をお願いします。

【お問合せ】

宮崎市 佐土原保健センター 電話:73-1115

◆ 島津入城420年記念祭

来年(2024年)は、島津以久公が垂水より初代藩主として佐土原へ入城してから、420年を迎えるにあたり、「島津入城420年記念祭」が下記のとおり開催されます

記

■日 時：令和6年2月11日(日)

11:00～17:00

■場 所：宮崎市佐土原歴史資料館「鶴松館」

■主 催：島津入城420年記念事業実行委員会

■内 容

- 1) 武者行列(高月院 → 鶴松館)
- 2) 薩摩日置鉄砲隊演武
- 3) 島津公に関連するパネル等の資料展示・山城イベント
- 4) 島津太鼓フェスティバルほかステージイベント
- 5) 出店

※お問合せ：佐土原総合支所地域市民福祉課

☎ 0985-73-1111

◆ 宮崎市津倉市民農園の紹介

市民農園貸し出し中!



野菜や花等を育てて、農業の楽しさ・難しさを体験できます。

個人、友達、家族、団体等での利用OK!

駐車場やトイレ等も完備しています!

詳しくは、佐土原総合支所・農林建設課(73-1114)に電話していただくか、市のホームページをご覧ください。



■場所:佐土原町東上那珂11780-1

(久峰総合公園から西に約2km)

■料金:年間7,330円(1区画約15m²)

R6.4.1以降は年間7,660円

ホームページ QRコード↑



◆ みんなのひろば 出来事 in sadowara (令和5年9月～) ◆

◆ 佐土原高校

●神武さまマップ完成発表会

10月17日(火)に神武さまマップアプリ完成発表会を本校で行いました。このアプリは、宮崎神宮大祭の御神幸行列及び神賑行列の位置情報を地図上で確認できるアプリです。



●プロ転向発表記者会見を行いました

本校テニス部の大岐優斗君が、いちご株式会社と所属契約を交わし、晴れてプロになることとなり、11月2日(木)より本校でプロ転向発表記者会見を行いました。



●佐土原総合文化祭に参加しました

11月4日(土)・5日(日)に佐土原総合文化センターで行われた佐土原総合文化祭に本校の生産部が参加しました。

●テニス部

<全国高等学校総合体育大会テニス競技>

男子シングルス 優勝 大岐 優斗
準優勝 宮里 琉星
男子ダブルス 準優勝 大岐 優斗・浅田 紘輔

男子団体 三位

<ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権 2023>

男子シングルス 優勝 大岐 優斗

●バドミントン部

<宮崎県高等学校二年生大会>

男子シングルス 初心者部 優勝 河野 悠希

●ウエイトリフティング部

<宮崎県高等学校一年生大会>

男子団体 優勝
男子 61 kg級 優勝 中萩 優斗
男子 67 kg級 優勝 甲斐 陽人

<燃ゆる感動 かがしま国体>

成年男子 89kg級 クリーン&ジャーク 169 kg
3位 青野靖希(保健体育科教諭)

●マイコンカー部

<第24回マイコンカーラリー宮崎県大会>

団体の部 優勝
アドバンスドクラス 優勝 山下 颯太

●エコカー部

<2023 エコ電気自動車レース in みやぎ>

鉛バッテリーレース部門 優勝
単三充電電池レース部門 優勝

●その他

<UMK ジュニアゴルフ選手権>

高校生女子部 優勝 逢坂 遥

【お問合せ】佐土原高校 ☎0985-73-5657

◆ 2023さどわら健康ふくしまつりが開催されました

10月29日(日)、「さどわら健康ふくしまつり」が開催されました。ボランティア団体など47団体が参加し、健康相談や体験コーナー、ステージイベント、バザー等が行われ、約750名の方が来場されました。また、来場者の方による『ふくし啓発標語』の投票も行われ、入賞作品が決定しました。

・『ふくし啓発標語』入賞作品 (佐土原町域の小学校に募集したところ、2校から応募がありました。)

<1～3年生の部>

最優秀賞 広瀬西小3年 児島 怜さん
○この世界 だれでもみんな びょうどうだ

優秀賞 佐土原小1年 鎌田 真七斗さん 佐土原小3年 金丸 侑愛さん
佐土原小1年 篠原 正さん 佐土原小1年 羽田野 心晴さん

<4～6年生の部>

最優秀賞 広瀬西小5年 岩崎 千紘さん
○「ありがとう」 その一言で 笑顔咲く

優秀賞 広瀬西小5年 佐藤 弥音さん 広瀬西小5年 長井 瑛慶さん
広瀬西小5年 猪崎 麗愛さん 広瀬西小6年 川崎 碧優輝さん

★ 協賛品、バザー品の提供にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

◆ 地域イベント・行事予定 in sadowara (令和6年1月～3月) ◆

◆ 佐土原図書館



●おはなし会のお知らせ

毎週水曜日と毎月第2～5土曜日に佐土原図書館おはなしのへやにておはなし会を行っております。0歳の赤ちゃんから参加できますので、ぜひ遊びに来てください。

- 毎週水曜日 15:45～16:15 おはなしのわっ!
(絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び等)
- 毎月第2土曜日11:00～11:30 さどわら新鮮組
(佐土原の小中高生による読み聞かせ等)
- 毎月第3土曜日11:00～11:30 いずみ一座
(絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び等)
- 毎月第4、5土曜日11:00～11:30 司書
(絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び等)

●子ども向け上映会のお知らせ

毎月第1土曜日に子ども向け上映会を行います。子ども向けのアニメなどを上映します。

- 日時：毎月第1土曜日 11:00～11:30
* 終了時間は上映内容により変更となる場合があります。
- 場所：佐土原総合文化センター 視聴覚室
- 定員：30名(先着順) 申込：不要 料金：無料

●午前10時からの上映会のお知らせ

毎月第1日曜日に上映会を行います。(一般向け作品を上映)

- 日時：毎月第1日曜日 10:00～12:00
* 終了時間は上映内容により変更となる場合があります。
* 1月7日はお休みになります。
- 場所：佐土原総合文化センター 視聴覚室
- 定員：30名(先着順) 申込：不要 料金：無料

●図書館 de 落語 落としばなしのお知らせ

「くじら亭落語会」の皆さんによる約15分の寄席です。

- 日時：毎月第3日曜日 10:00～10:15頃
- 場所：佐土原図書館 畳の部屋
- 申込：不要 ■料金：無料



【お問合せ】宮崎市立佐土原図書館

電話 30-1037・FAX 72-2066

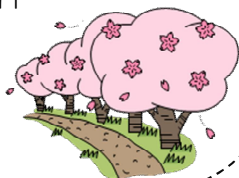
メール swlibrary@city.miyazaki.miyazaki.jp

◆ 宝塔山公園桜まつり

宝塔山公園に咲き誇るピンクのソメイ吉野や佐土原の景色を見ながらステージショーや各種ゲーム等体験されませんか。また、4月中旬にはみどりの桜(御衣黄桜)も見られます。

- 日時：令和6年3月31日(日) 10時～15時
- 場所：佐土原宝塔山公園
- 主催：佐土原小学校区地域づくり協議会
まちおこし部
- 対象者：地域住民(市民)
- 参加費：無料

※ お問合せ：佐土原小学校区地域づくり協議会
☎ 0985-74-3471



◆ 佐土原交流プラザ

公民館講座

こども落語教室「落語であそぼう」お披露目会

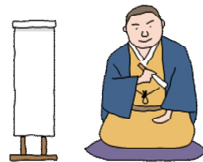
小学校低学年から高学年までの受講生が、この6月より励んだ『落語の稽古』。その成果をお披露目します。指導いただいた柱大黒先生の本格的な落語も楽しめます。是非、皆さんの大きな心でご覧いただき、こども落語家(「くじら亭」と命名)を育てて頂きたいと思えます。皆さんの笑い声と拍手が「くじら亭」の面々の何よりの励ましとなることでしょう。広いホールで、ディスタンスを取りながら、観覧希望者募集中！100名程度(先着順)で開催します。

- 日時：令和6年2月10日(土) 午前10時開演
- 場所：佐土原総合文化センター 小ホール(イス席)
- 対象者：こども落語を大きな心で楽しんでいただける方
- 参加費：無料(木戸銭不要)

※お問い合わせ

久峰中校区活動センター

☎ 72-2998



◆ 宮崎市佐土原歴史資料館

チャレンジ77 佐土原旧跡巡り③

- 日時：令和6年2月25日(日) 9:00～12:00
- 場所：佐土原地域の旧跡を巡るバスツアー
- 対象者：子ども(小学5年生以上)と保護者・一般の方 25名
- 参加費：800円/1人
- 申込み：令和6年1月25日～2月3日受付
申込者多数の場合は、抽選

※ 瓢箪島や広瀬神社等の旧跡や社寺等をバスで巡り、学ぶ講座です。

※ ホームページのお申込みフォーム・電話・FAXのいずれかでお申込みください。

※ お名前などの固有名詞には必ずふりがなをご記入ください。申込は生目の杜遊古館にお願いします。

【企画展】出張！2館合同収蔵品展

- 日時：令和6年1月27日(土)～2月25日(日)
9:00～16:30
- 場所：宮崎市佐土原歴史資料館 鶴松館
- 対象者：どなたでもご覧いただけます
- 参加費：無料
- 申込み：不要

※ 開館30周年を記念し、佐土原歴史資料館の収蔵品を展示するほか、同じく開館30周年の天ヶ城歴史民俗資料館の資料も展示します。

お問合せ：(平日) 生目の杜遊古館
(☎0985-47-8001)
(土日) 宮崎市佐土原歴史資料館
(☎0985-74-1518)

◆ 佐土原のお宝発掘・発展・発信事業 読本「佐土原むかし物語」より

日講上人(下) (48号の続きです)

四十一歳のとき、幕府からの供養の命を拒否して不受不施を守ろうとしたため佐土原に流罪となりますが、当時佐土原藩主だった忠高は日講を尊敬して厚く持て成したのです。

幕府の覚書のきまりは緩められ、屋敷は広げられ、隣の常念寺は他の場所に移して文庫が作られました。日講は佐土原で法華経や日蓮遺文、漢籍などの講義を行い、藩主をはじめ人々から崇敬を集めました。藩主忠高は日講の影響もあり藩政改革に努め、その成績は著しいものであります。

日講のこの大小路(本町)の庵での生活は十一年続きますが、忠高死去の次の年に野久尾に屋敷替えになっています。日講はまた風雅な文人であり風流を愛し、連歌をよくし、日講庵にはその道の者もよく集まったのです。

日講は他の配流された僧に比べ自由があり、来客との面接、手紙の受け取り差し出し、藩内の往来を許され、自然と全国に散らばった信者や僧から彼のもとには各種の情報が集まり、それに伴う世の流れや全国の動きがわかる存在でした。

元禄五年(一六九二)、法華経講述一千座を成しとげ、次いで八年には「録内啓蒙」を完成させ、「生涯の本望はこれに過ぐべからず」とその喜びを述べています。

彼の残した「録内啓蒙」は現在の日蓮宗の入門書と言われています。また、三十二年間の日記は、まとめられて「説黙日課」となって残されているのです。

この日記は日講を理解する上で、また当時の佐土原の様子を物語る貴重な資料となっています。

日講は元禄十一年(一六九八)三月十一日に、多難の七十三歳の生涯を佐土原で終えたのでした。(佐土原SICKS塾「佐土原むかし物語」より)

◆ 佐土原の史跡

佐土原は、かつて一時期「日向の国」の中心地。近世には、米良街道や薩摩街道などが交錯する所として賑わいました。佐土原の史跡を紹介します。

巨田神楽 (平成5年市指定無形民族文化財)



巨田神楽は、巨田神社に古くから伝わる神楽で、神楽面や太太鼓などの紀年銘から慶長年間(1600年頃)には舞われていたようです。

毎年、秋の例祭日には巨田神社の境内で三十三番が奉納され、町内外の見学者は、その太古の神々の神聖な世界に引き込まれ厳かな秋の一日に浸っています。

この神楽は、哀愁を帯びた旋律と軽快なリズムを横笛と太鼓で表現し、他所の神楽とは違った独特の趣を有しているという特徴があります。

◆ 佐土原地区の人口(令和5年11月1日現在 現住人口)

- 33,873人
- 男性 16,112人 •女性 17,761人
- 世帯数15,784世帯

◆ リレートーク



なかはら ゆうき
中原 祐希 さん
(JA宮崎中央佐土原支店青年部 副部長)

私は、佐土原町で農業をしています。農業をはじめから16年経ち、胡瓜40a作付けしています。今年からはJA宮崎中央佐土原支店青年部の副部長を務めています。

コロナ禍での規制が緩和されて、続々と青年部のイベントが増え、さくらまつりとJAふれあい感謝祭の地鶏の炭火焼きの店、那珂小学校と広瀬西小学校の田植えと稲刈りがありました。

コロナ禍でなかなか集まることができなかった青年部のメンバーでは積もる話が多くあり、話題が尽きません。3年ぶりということもあり、景気の話、身体の話が多く、昨今、苦しい経済状況が続いている中、インフルエンザ、コロナの感染も未だに続いています。

私には、18歳の子供と8歳の双子の子供がいて、学校でも、インフルエンザ、コロナの感染が流行っています。免疫力の低下で病気にかかりやすいとも言われているので、今こそ、野菜の大切さを知ってほしいです。

大人にとっても、子供にとってもこれから将来の不安があると思いますが、子供達の安全な未来のために、今後も佐土原町の地域貢献に取り組んでいきます。